

祭典畧附祭文例

東京聖武官邸藏

130
69

| | | |
|---------|---|---|
| 東京聖武官邸藏 | | |
| 館書圖 | | |
| 一 | 六 | 五 |
| 冊 | 九 | 一 |
| | 號 | 架 |
| | | 函 |

014074-000-2

130-69

祭典畧

藤原 宣隆 / 著

M18

ABB-0330



皇學所講官

藤原朝臣宣隆著

賀茂經春縣主閱

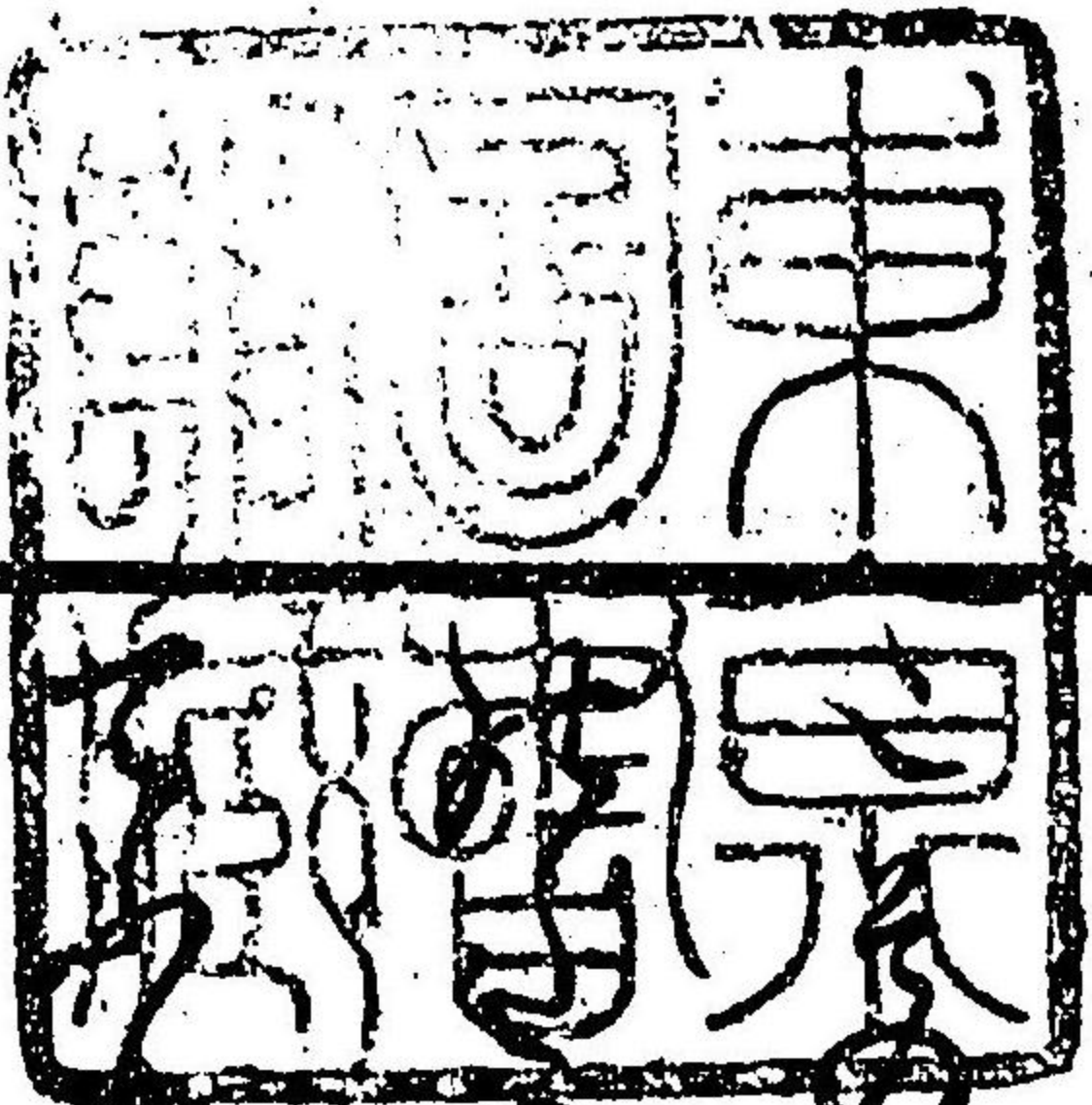
官許

祭典略

附

祭文例

平田塾藏版



大徳学流のきの南興よみ部へのしやうのそく

の冬より夏うへにまはるる夏奉田大人能

くそくの中へへのいふ大政をいふ人の

たかきしやうへに強かきしそを神祇の重

那重そのものはあつるをあつるははあひ

おしそ法はあつる記よあつるそあつるたのく

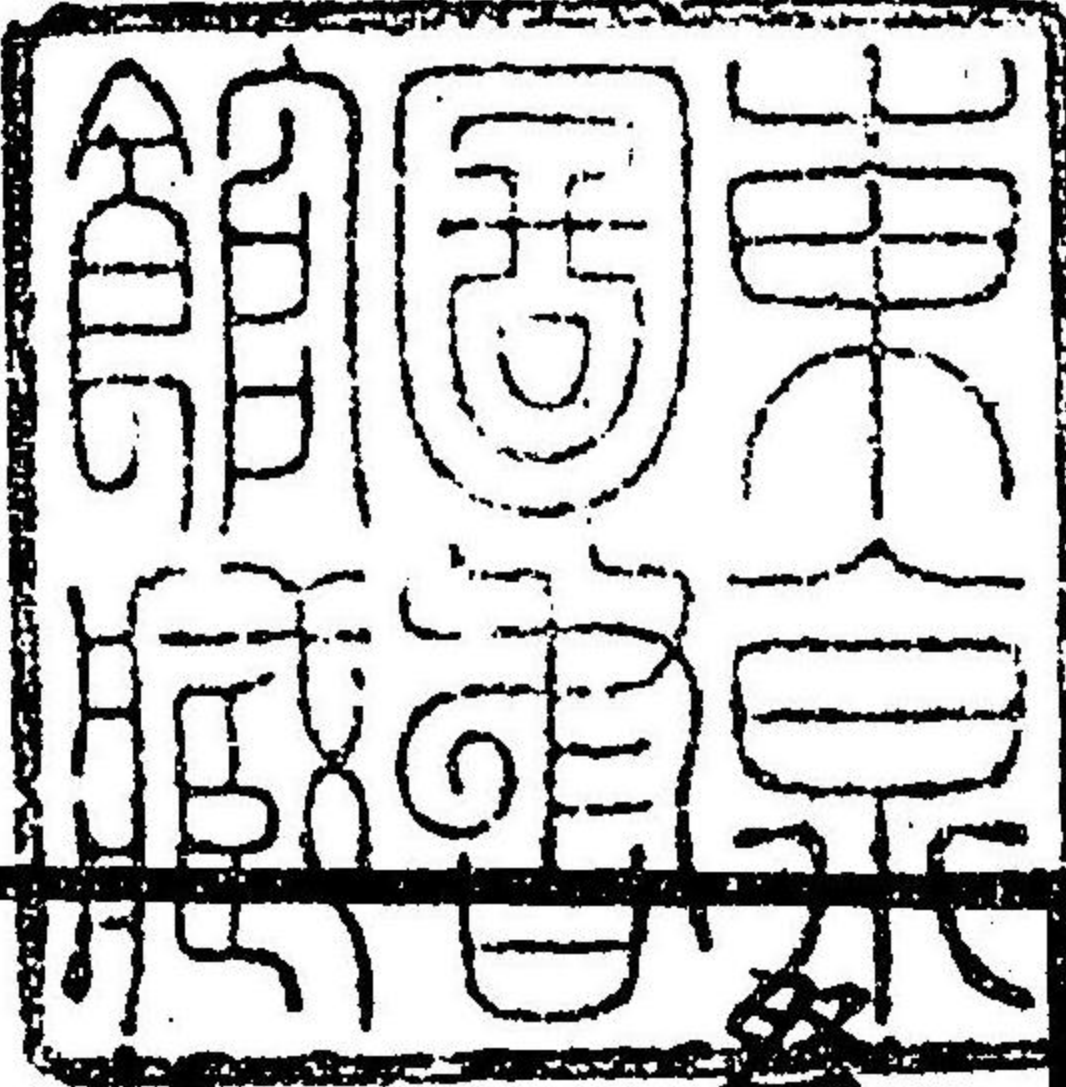
志くそまはるるあつるのたつるのそあつるたのく

そあつるあつるのそあつるたのくあつるたのく

出都のさのみおほくしんをいへりし平
君の嬉みやうさうれくまにぬきぬき
うきうきあはれぬるさうなれぬ人
まはれぬるはなれぬるさうなれぬ
ふけい巻とぬきぬきぬきぬきぬき
中にもあひのふささたりぬきぬきぬき
同一みもさうなれぬるさうなれぬ
たうし大人さうなれぬるさうなれぬ

大朝延おしりへのみのりし伊勢神宮はれとを
多みのりしおしりへのあはれぬるさうなれぬ
さうなれぬるさうなれぬるさうなれぬ
今乃よりのあはれぬるさうなれぬ
さうなれぬるさうなれぬるさうなれぬ
さうなれぬるさうなれぬるさうなれぬ
さうなれぬるさうなれぬるさうなれぬ
さうなれぬるさうなれぬるさうなれぬ
さうなれぬるさうなれぬるさうなれぬ
さうなれぬるさうなれぬるさうなれぬ

明々中々もかゝる人々多らるるものありき
 冬多し一あゝと玉清く紅葉思家人志
 う物もいふも明治二年二月春河國變然新
 尔より碓氷大神之勢之り山原辺江守藤原
 親王之宣隆




祭典略

祓戸次第

從五位下藤原朝臣宣隆 撰
 正四位下賀茂縣主經春 閱

祓殿有レバ勿論无クハ庭上砌下。或ハ廻廊拜殿ナド。便宜ノ所
 フ祓戸ト爲レテ。薦ヲ鋪キ。高案ヲ居テ幣ヲ安ニシテ。瀬織津比
 咩神速開都比咩神氣吹戸主神速佐須良比咩神ノ神座ト
 爲ス。此四柱神ヲ祓戸神ト白ス。

○次ニ神座ノ前ニ。ニタ案ヲ居テ。其上ニ筒ヲ置キ。大麻ヲ立ツ。大
 麻ハ三尺餘ノ細キ紳ト。竹トヲ併セ縛ヒテ。末ノ方ニ八垂ニ裁タ

ル紙ト。細ク拵タル麻トヲ付タルナリ。其側ニ紙ヲ  如此裁
テ一尺餘ノ串ニ挾ミタル麻ヲ置ク。但シ神部數人アラハ。其員ニ合
セテ設クヘシ。

○次ニ大麻ノ前ニミタ小案ヲ置キテ幣ヲ獻ル料トス。

○次ニ祭主幣ヲ執リテ座ニ著キ一拜シ。幣ヲ小案ノ上ニ置キテ。
又一拜ス神部ニテ然リ幣ハ神ノ小枝ニ麻ヲ著タルカ。又ハ紙ヲ
帖ミテ串ニ挾ミタルカ心ニ任ス。但シ神部數人ニテ自ラ幣ヲ獻リ
テハ事ノ煩トナラバ一人起テ人々ノ持タル幣ヲ取り一ツニ束
ネテ獻リテモ宜シ。其時ニハ手ヲ一ツ拍テ取り渡シテモ手ヲ拍
ツナリ。

○次ニ再拜兩段トテ扇ヲ持テ四度拜ス。神部モ皆然リ。

○次ニ懷中ナル天津祝詞ヲ取出シコレヲ披キ一拜シテ讀ム。讀
畢リテ又一拜シ祝詞ヲ本ノ如ク懷中ス。コノ天津祝詞ヲ白ス
間ハ神部ニテ平伏シテ有ルベシ。

○次ニミタ再拜兩段スル事初ノ如シ。神部モ亦同シ。

○次ニハ開手トテ扇ヲ置キテ手ヲハツ拍チ。扇ヲ取りテ一拜
ス。神部モ亦コレニ同シ。

○次ニ麻ヲ執リテ祓給ヘ清給ヘト唱ヘナガラ。左右左下我身ヲ
祓ヒ息ヲ吹挂テ庭上ヘ棄ルヲ下部ノモノ拾ヒテ川ヘ流ス。神
部オノク然爲スベシ。此モ一人座ヲ起テ麻ヲ皆持來リテ神

部へ渡シテモ宜シ。時ニ從シズベシ。其時ニハコレモ手ヲ拍ツテ受ケ取ルト。渡シタル方ニテモ一ツ拍ツナリ。

○次ニ扇ヲ取り。一拜シテ。座ヲ起チ退下ス。神部ニナ同シ。

○サテ下品ノ神人アマタ有ルカ。又ハ參拜ノ人多キ時ナドニハ。

上ニ記セル行事竟リテ後神前ヲ背ヲニ爲シサシルヤウニ斜ニ坐シ

テ一拜シ。大祓詞ヲ讀ム。神部モ座ヲ改メテコレヲ聞キ。讀ミ終リ

タル時。神部同音ニ稱シ。一拜シテ退出ス。ソレヨリ彼ノ大麻ヲ

取リテ。參拜ノ人マデ祓清ム。

○六月十二月晦ノ大祓モ上件ノ如シ。

○此書。タ祭文例ニ記セル諸祭何レモ最初ニ此祓戸次第ヲ

修シテ後ニ其祭ヲ行フ事。皆同シト知ルベシ。仍トテ一々其事又云ハズ。

神前次第

神供ノ品トモハ。其社々ノ舊例アリ。又時ニ臨ミテ。土物ノ宜キヲ

獻ル事ナドモ有レバ。今ハ云ハズ。唯清潔ヲ專ニシテコレヲ調ヘ。獻

ル時ニハ。覆面ニテ鼻口ヲ掩ヒ。一種ヲ獻ル毎ニ必ズ一拜スベシ。

○次ニ榊ノ枝ニ麻ヲ著ケタル。太玉串ヲ取テ座ニ著キ。一拜シ。太

玉串ヲ案上ニ置キ。扇ヲ持テ。再拜兩段シ。懷中ノ祝詞ヲ取出シ。

一拜シテコレヲ讀ミ。竟リテ一拜シ。祝詞ヲ懷中シ。扇ヲ取テ。再拜

兩段シ。扇ヲ置テ。ハ開手ヲ拍チ。扇ヲ持テ一拜シ。座ヲ起テ退ク

事ナド何レモ祓戸次第ノ如シ。又神部モ祭主ト同ジク。太玉串ヲ獻リ。再拜兩段ハ開手ヲ拍チ。祭主ノ祝詞ヲ白ス間ハ。同ニ平伏スル事ドモ。皆祓戸ニ同ジ。此時ノ祝詞ハ。其祭ゴトニ替ルナリ。天津祝詞ト同ジカラズ。

○次ニ少時アリテ。供物ヲ撤ス。此時モ。一種ヲ撤スゴトニ。必一拜スベシ。

○次ニ便宜ノ所ニテ。神供神酒ヲ給ハル。コレヲ直會ト云ヒテ。神事ノ竟トス。

○元日。月祀。節供。常祀。春祭。秋祭。祈雨。祈晴。同報賽ナド。皆斯ノ如シ。故ニ々コレヲ注セズ。又何レノ祭モ。七日。或ハ二夜三日。或

ハ一日二夜ノ神事ナド有リ。ミナ其社ノ古式ニ從フベシ。

宮地鎮謝祭

コレハ正殿ヲ始メ。拜殿門ノ類。及ビ人ノ家ヲ造ル時。其地ヲ守リ給フ神ヲ祀ル行事ナリ。地鎮祭又ハ地祭トモ云フ。マツ宮ニテモ。家ニテモ。作ルベキ地ノ中央ニ竹ヲ四本立テ。注連繩ヲ張リ。薦ヲ鋪キ。高案ヲ居エ幣ヲ安シジテ。生井神。榮井神。綱長井神。阿須波神。波比岐神ノ神座トス。此五柱神ヲ座摩神ト白シテ。朝廷ニテ。二月。祈年祭。六月。十二月。月次祭ニ祀リ給フ事ニテ。其詞延喜式ニ見エタルガ。此神等ノ敷坐ス地ニ天皇ノ大宮ヲ造リテ。大マレマスガ故ニ。此神ヲ祭り給フヨシナリ。是ニ擬ヒテ。神ノ宮

ヲ始メ人ノ家ヲ造ル時ニモ。此五柱神ヲ祭ル事ハ云マモ更ナ
リ。人ノ家ニテハ宅神竈神門神井神ト同ジク。毎年必祭ルベシ。
世ニ地主神。マタ地神ナド云ヒテ。宅地ノ乾ノ隅ニ有ル社。即コノ
座摩神ニテマセバ。其前ニテ。此祭ヲ行フベキ事ナリ。

○次ニ神座ノ前ニ。マタ案ヲ居テ。供物ヲ獻ル。供物ハ。飯餅飴洗
米魚海藻野菜酒醴ノ類何ニテモ心ニ任ス。

○次ニ太玉串ヲ獻リ。再拜兩段シテ。祝詞ヲ白シ又再拜兩段シ
テ。ハ開手ヲ拍ツ事ナド。皆上ニ記セル神前次第ニ同ジ。終リテ
供物ヲ撤シ。神座ト崇メタル幣ヲバ。然ルベキ地ニ納メ。直會ス
ベシ。

大殿祭

神ノ宮ニハ大殿祭ト云ヒ。人ノ家ニハ宅神祭ト云ヒテ。屋船豐
宇氣姫神屋船久ハ能智神ヲ祭ル。此ニ柱神ノ事ハ。延喜式ノ
大殿祭詞ニ委シク見ユ。又大嘗會ノ當日ニ。大殿宮ヲ祭ル事
アリ。是等ノ御式ニ擬ヒテ。遷宮ノ當日ニレヲ行フ。

○正殿ノ大キナルハ。殿内ニテ行ヒ。小キハ階下ニテ行ヒ。自餘
ノ諸殿舎ハ。便空ノ所ニ。神座ヲ設ケテ祭ル。供物ヨリ直會ニ至
ルマデ。凡テ上ニ記セル諸祭ノ如シ。

○此祭ハ。上ニ云ヘル如ク。遷宮ノ當日ニ。祀ル事ハ云フモ更ナ
リ。平常ニモ。下ニ記セル御門祭ト共ニ。六月。十二月ニ必行フベ

シ。庶人ノ宅神祭モ亦同シ。

遷宮

正殿ヲ造替ヘ。又ハ葺替ノ時假殿ニ遷奉ルヲ。假遷宮ト云ヒ。假殿ヨリ本ノ宮ヘ返奉ルヲ。正遷宮ト云フ。コノ假遷宮ヲ。今ノ世ニ外遷宮ト稱フ事。古書ニ見當ラヌ名目ナルガ。此ハ假ノ字ヲケト讀ムヨリ訛リテ。外ノ字ヲ用フル事トハ成レルナルベシ。サテ假遷宮。正遷宮トモニ。其行事ノ次第ニ於テハ。異ル事无ケレバ。此一式ニテ。假正トモニ通用シテ宜シ。

○用度

大麻 一本 三尺餘ノ細キ神ト。竹トヲ束ネテ。其末ニ。

麻ト紙トヲ著ル事。被戸ノ次第ニ注セルガ如シ。

鹽湯 一坏 大土器ニ湯ヲ盛リテ。鹽ヲ入レ。神ノ葉ハニ。

ニツ付タル小枝ヲ載置ク。

白杖 數不定 三尺計ノ梅ノ櫛ナリ。

行障 二張 絹或ハ麻布ニテ作ル。潤サハ三幅ヲ堅ニ縫

フ。長サ四尺位上ノ方ニ桁ヲ入レ。紐ヲ付ケテ。竿ニ繫グ。船ノ帆ニ似タリ。

絹垣 一張 本儀ハ絹ナレドモ。略ニハ麻布ヲ用フ。潤サ

ハ三幅ニテ。幕ノ如ク縫フ。伍シ物見ハ無シ。長サハ御羽車ノ大小有無ニ從フ。乳ヲ多ク付ケテ。是ヲ矢筈ノ如ク削リ

タル竹ニ挾ミテ。數人ニテ擎持ツ。

御羽車 一具 御樋代ヲ載奉ル轆ナリ。御樋代大キナル

時ニ用フ。小サクテ。一兩人ニテ頂キ奉ラル、時ニハ。御羽

車ニ及バフ。

敷布 一條 麻布一幅ナリ。長サハ。假殿ト正殿トノ間

ノ路程ニ從フ。

薦 數不定 コレモ假正兩殿ノ間ヲ鋪置ス。其外破

戸ヲ始メ。用途多ケレバ。數帖設ケオクベシ。

幌 燈臺 案 ナホ殿内御饌ノ裝束調度及ビ諸般用

物數多アルベシ。

覆面 手袋 肩當 麻布ニテ作ル。御樋代ニ手ヲ觸レ。又

ハ御羽車ヲ昇モノ、用具ナリ。

木綿繩 麻一條ヲ用フ。コレモ御樋代ヲ頂クモノ、具ナリ。

遷宮當日。午未ノ刻ノ交ニ。御手洗川カ。又ハ庭上ニテ破ヲ行フ。

其儀初ニ記セル。破戸次第ノ如ク。高案ニ幣ヲ立テ。破戸四柱

神ノ神座ト爲シ。其前ニ案數脚ヲ居テ。神寶ヲ始メ。上ニ記セ

ル用物ヲ並べ載ス。

○次ニ又案ヲ居テ。大麻鹽湯ヲ置ク。祭主以下ノ獻ル幣ヲ

此案ニ置テモ宜シ。

○次ニ祭主及ビ神部等各幣ヲ取テ列立ス。幣ノ事ハ上ニ云ハ。

○次ニ祭主座ニ就テ幣ヲ案上ニ獻ル。神部皆著座ス。
○次ニ神部一人座ヲ起テ衆神部ノ持タル幣ヲ乞受ケ束ネ
持テ神前ニ獻ル。コレハ人々自ラ進ルベキ事ナレドモ煩雜ヲ厭
ヒテ如此爲ルナリ。此時手ヲ拍テ受取レバ投ケ人モ亦手ヲ拍ッ。
○次ニ祭主再拜兩段シテ天津祝詞ヲ白シ。又再拜兩段八開手
ヲ拍チ。神部モ一同稽首拍手スル事。上ニ記セルガ如シ。
○次ニ一人起テ大麻ヲ取リ神寶及ビ諸調度ニ向ヒ。祓給へ清
給へト云ヒナガラ。左右左ト打祓ヒ。次ニ神部及ビ雜人ニ向ヒ
テ。又同ジク祓清ム。竟リテ大麻ヲ本へ返ス。
○次ニ又一人起テ鹽湯ヲ取リ。神葉ニテ灌グ事。大麻ノ所作

ニ同ジ。竟リテ各一拜退出ス。

○次ニ座ヲ改メテ。大祓詞ヲ讀ム。讀終ル時衆人同音ニ稱唯
ス事ドモ。上ニ記セルガ如シ。如此テ退去シ。神寶以下ノ物ヲ社
邊ノ便所ニ徙シ。遷宮ノ用意ヲ致ス。

前日ニ。正假兩殿ノ階下ノ柱ヲ始メ。渡御ノ路ナル殿門ノ柱。及
ビ諸門ノ柱毎ニ。木綿著ケタル櫛ヲ立ッ。木綿ハ紙ヲ四垂ニ裁
タルナリ。

○當日酉刻。正假兩殿ノ前ヲ始メ。諸殿門ニ庭燎ヲ設ク。又兩
殿ノ階上階下ニ燈臺ヲ立テ。火ヲ點ク。

○戌刻。兩殿ノ間ニ薦ヲ鋪ク。コレハ渡御ノ道ナリ。

○次ニ警蹕。白杖大麻鹽湯ノ物ドモ。庭上ニ群候ス。

○次ニ雞鳴ノモノ。階下ノ座ニ就ク。

○次ニ行障絹垣敷布ノモノドモ。階下ノ左右ニ候ス。

○次ニ祭主手扶召立御羽車ニ奉仕ノ者ドモヲ率キ來リテ。

階下ノ正面ニ坐シ。再拜兩段シテ。祝詞ヲ白ス。手扶以下。平伏ス。

竟リテ又再拜兩段ス。八開手ハ無シ。祝詞モ微音ナリ。

○次ニ燈ヲ滅ス。

○次ニ祭主。木綿纏覆面手袋ヲ著ケテ。昇殿ス。手扶以下コレ

ニ隨ヒ。殿内ニ入り。慎シテ御樋代ヲ御羽車ニ移シ奉ル。モノレ御

羽車ヲ用ヒザル時ハ。御樋代ヲ頂キ奉リ。一ツ廻シテ。御樋代ノ

背ヲ吾身ノ方ニナス。御樋代ノ大小輕重ヲ。能々量リテ。御羽車ノ
有无手扶ノ多少等。其程ヲ考ヘ。ユメク疎漏有ルベカラス。尚心
ヲ用フベキ事多シ其人ニ就テ習フベシ。

○次ニ召立ノモノ。階ノ中間ニ降リテ。雞鳴仕奉レト呼ベバ。則未
廣扇二枚ヲ兩手ニ持テ。羽音ヲ擬ビ。雞聲ヲ發ル事三度。

○次ニ絹垣一呼ベハ。絹垣ノ兩端ヲ持タルモノ。階ノ左右ニ迫リ。
中ヲ持タルモノハ。丸ク立竝ビテ。袋ノ如ク。絹垣ヲ張リテ立ツ。

○次ニ出御ト呼フヲ聞テ。階上階下。一同ニ肅然タリ。

○次ニ御樋代。絹垣ノ中ニ入り給ハ。絹垣ノモノ。一齊ニ左ヨリ右
へ廻リテ。前ニテ行逢ヒ。兩端ヲ合セテ。高ク捧ゲ。内ノ見エザルヤウ

ニ圍ム。

○次ニ行障ノモノ。絹垣ノ左右ヨリ。高く撃グ。

○次ニ敷布ノモノ一人。前ヨリ布ヲ鋪ケバ。御通代ノ進ムニ從ヒ。一人後ヨリコレヲ捲テ。他人ニ踏マザラシム。

○次ニ警蹕ノモノ。聲ヲ揚ゲテ。前驅スレバ。自餘ノモノ列ヲ正シテコレニ從フ。

○行列

警蹕 人數不定 柳枝ヲ執テ。二行ニ列リ。ヲト微音ニ呼ナガラ徐歩ス。但シ出御ノ時ト。途中ト。入御ト。三度ニ三聲ツナリ。

白杖 人數不定 左右ニ列歩ス。

鹽湯 一人 柳葉ニテ灌ギナガラ行ク。

大麻 一人 左右へ打振リナガラ行ク。

絹垣 内ニ御通代アリ。前後ニ敷布ノモノアリ。左右ニ行

障アリ。

神寶 渡御ニ供奉スル事便悪クハ。鎮御ノ後ニ運ブベシ。

後取 事ニ駈タルモノ三四人。前後ヲ監視ス。此次ニ祭主

以下。神部ノ召具等群行ス。

○御通代殿前ニ到レバ。警蹕。白杖ハ。左右ニ平伏ス。大麻。鹽湯ハ。殿内。殿外ヲ祓清メテ後。便所ニ跪居ス。

○既ニシテ階下ニ近ツケバ。絹垣ノ兩端ヲ開キテ。御樋代ノ出御ニ障リ無カラシム。

○是ヨリ先。一人豫メ階上ニアリ。此ニ至リテ。戸ヲ開キ。幌ヲ褰グ。○鎮御 祭主手扶心ヲ靜メテ。御樋代ヲ安ンジ奉リ。幌ヲ垂レテ一拜シ。階ヲ下リ。座ニ就テ。手次覆面手袋ヲ脱リ。又一拜ス。

○御火ノモノ。此モ豫メ階上ニ有リ。幌ヲ垂ル。ヲ見テ。火ヲ燧出レ。階上階下ヲ始メ。諸殿門ニ燈ヲ點ク。

○供物ヲ獻ル。其品物ハ既ニ云ヘルガ如ク。各社ノ舊式ニ從フ。○祭主以下。神人一同。太玉串ヲ獻リ。畢リテ再拜兩段。祭王祝詞ヲ白シ。又再拜兩段。八開手ヲ拍ツ。神部モ亦。稽首拍手ス。

ル事。上ノ條ノ如シ。一同退去。

○暫時有リテ。供物ヲ撤シ。戸ヲ闔テ後直會ス。

○上ニ云ヘルガ如ク。假正ノ遷宮。其式ハ替ラザレトモ。供物ノ多少。行糝ノ盛否ハ。自ラ異ナルベシ。

○祭主ハ。官爵ノ有無ニ從ヒ。袍或ハ淨衣ノ上ニ。明衣ヲ著ス。又ハ明衣ヲ用ヒズシテ。齋服。淨衣ノ。深ズ彩ラザル物ノ。新清ナルヲモ用フベシ。

同略式

小社ニテ。神部モ無ク。假ノ役人ナドヲ使ヒテ。遷宮爲ル時ニハ。上ノ如クハ行ヒ回キ事モ有レバ略式ヲ記スコト左ノ如シ。

○祓戸ノ行事ハ常ノ如シ。

○殿門ノ柱ニ神ヲ立庭燎ヲ設ケ。兩殿ノ間ニ薦ヲ鋪ク事ナド。上ニ記セルガ如シ。

○兩殿ノ間ニ幕ヲ張ル。モシ幕無クハ。假ニ板垣ヲ結ベシ。

又ハ短キ幕ノ類ヲ。絹垣ニ假用ヒテモ宜シ。但シ餘リニ古クテ。垢著タル品ナドハ用フベカラズ。

○祭主手扶一兩人ヲ率テ。階下ニ來リ。再拜兩段。微音ニテ祝詞ヲ白シ。終リテ又再拜兩段ス。ハ開手ハ無シ。此間手扶平伏スル事上ノ如シ。手扶無クトモ。事足りナバ。然テ有ルベシ。

○次ニ燈ヲ滅ス。

○次ニ祭主木綿纏覆面手袋ヲ著テ昇殿シ。御搦代ヲ頂キ奉ル事ナト上ノ如シ。

○次ニ絹垣ヲ用フル時ニハ。上ニ記セルガ如ク爲スベシ。

○次ニ兩殿ノ間遠クシテ。敷布ヲ用フル事成難クハ。形バカリノ布ヲ。兩殿ノ階ヨリ上ヘ敷クベシ。ナホ遠クシテ。薦ヲサヘモ敷カヌル時ニハ。祭主一人新シキ履物ヲ用ヒテモ宜シ。サレド是ハ至極ノ略儀ナリ。

○行列

警蹕 二人 一人ニテモ宜シ。

白杖 二人 無クテモヨロシ。

鹽湯 一人 上ニ記セルガ如シ。

大麻 一人 右ニ同シ。此鹽湯大麻ハ必ズ有ルベシ。略ス

ベカラス。

御樋代 祭主コレヲ奉仕ス。

後取 一兩人。

○御樋代既ニ前殿ニ到レバ。警蹕。白杖ハ左右ニ平伏シ。鹽湯。大
麻ハ正殿ノ内外ヲ跋ヒ清メテ後。便所ニ跪居ス。

○祭主御樋代ヲ納メ。幌ヲ垂レテ。一拜シ。階ヲ下リ。座ニ著キ。
木綿繩等ヲ脱リテ。又一拜ス。

○燈ヲ點ケ。供物。及ビ。玉串ヲ獻リ再拜兩段。祝詞。マタ再拜兩

段ハ開手竟リテ退出シ。再昇殿シテ。供物ヲ撤シ。戸ヲ閉ル事ナ
ド。皆上ニ記セルヲ。熟ク讀見テ。コレヲ行フベシ。

御門祭

御門マタ鳥居ヲ新シク作りタル時ハ云フニ及バズ。平常ニモ大
殿祭ノ日ニコレヲ祭ル。御門鳥居ナドノ下ニテ祭ル事。上ニ記
セル諸祭ニ同シ。豊石間戸神。撤石間戸神ト白ス神ヲ。門ノ左右
ニ祭ル。此ハモト一神ナルヲ。門ニ祭ル時ニハ。二ツノ御名ヲ。左右ニ
分ケテ祭ルナリ。コレモ朝廷ノ御門ニテ。祀リ給フ。御式ニ倣ヒ
テ。神ノ御門。及ビ庶人ノ門ニテモ祭ル事ナリ。

井神祭

神ノ井。人ノ井トモニ彌都波能賣神御井神鳴雷神ヲ祭ル。彌都波能賣神ハ水神ナリ。御井神ハ御名ニ負坐ルガ如シ。鳴雷神ハ朝廷ノ主水司ニテ祀リ給フ神ナレバ。其ニ擬ヘリ。祭式ハ上ニ記セル祭ドモノ如シ。井ノ前ニテ祭ル。モシ井無クハ。日ノ水ヲ用フ所ニテ祭ルベシ。

竈神祭

神饌ヲ炊ク竈ヲ始メ。人ノ家ニテモ同ジク祭ル。其神ハ齋火産靈神奥津比古神奥津比賣神合セテ三柱神ナリ。齋火産靈神ハ朝廷ノ大炊寮ニテ祭リ給フ神ニ坐ス。奥津比古神奥津比賣神ハ古事記ニ諸人之持伊都久竈神也トアリ。此文ニテ古

昔ハ此二柱神ヲ家毎ニ齋祀リシ事灼然シ。サルヲ世ニ三賢荒神ト云フ。天竺ノ物ヲ祭ルハ竈ヲ穢ス所爲ニテ。イトク可畏キ事ナレバ。早く此三神ニ祭リ替フベシ。其式ハ上ニ記セル諸祭ノ如ク。竈ノ前ニテ行フ。サテ上ニ記セル宅神門神座摩神竈神ハ家毎ニ必ズ祭リテ。日ノ被ル恩頼ノ片端ヲ謝白シ。ナホ往前モ守リ給ハム事ヲ祈ルベキナリ。

鎮火祭

火災ノ恐有ル時。火之辺具土神ヲ祭ル。其ハ神座ヲ設ケ。其ノ前ニ案ヲ居ユテ。水瓢土川菜ヲ清ク大キナル器ニ盛リテ。竝ベ置キ。御酒御饌太玉串ヲ獻ル事常ノ如シ。瓢ハ尻ノ方ヲ少シ

切テ。水ヲ汲ムベク爲ス。鶴首ト云フ形ナレバ。殊ニ宜シ。
川菜ハ。能ク水ヲ含ム物ニテ。植木ノ根ヲ絡キテ。遠方へ送り
ナド爲ル苔ナリ。竟リテ此四種ノ物ヲバ。家ノ内ノ清キ所ニ齋
ビ置クベシ。

清祓

宮地宅地。又ハ一郷ニテモ。穢レタル時ニ行フ。其ハ卷首ナル祓戸
次第ヲ修レテ後。大麻ニテ。其穢レタル家ニテモ。里ニテモ。祓清メテ
後。大麻ヲバ川へ流スナリ。

祈禱病

疫癘其外ノ病。大ニ行ハル。時ゴレヲ行フ。但シ隣里ニ有リテ。其

里ニハイマダ無キト。既ニ其里ニ有ルトニテ。祝詞異ナリ。

○時行病ノ烈キ時。假ニ宮ヲ造リ。或ハ神輿ヲ飾リテ。大名年
逢神。少名毗古那神ヲ招奉リテ。齋祀ル事。古書ニ例有リ。

○土地ヨリテハ。須佐之男命ヲ招奉リテ。祀ル事有リ。此ハ備後
風土記ノ故事ニ依リタルニテ。多クハ山城國。愛宕郡。八坂神社。尾
張國。海西郡。津嶋神社。ナドノ符ヲ受來リテ祭ル事ナリ。ナホ因ニ
ヨリテ。祭ル社外ニモ有ベシ。又此神ヲ祭リテハ。新ノ葉ヲ綴ネテ。
小キ輪ト作シ。人毎ニ佩シムルナリ。

○病者ヨリ。賴來レル時ニハ。己ガ奉仕神祈ルナリ。

○以上オノノ祝詞ハ替レドモ。祭式ハ皆常ノ如シ。

障神祭

他郷ニ流行病ヲ始メ。禍事有ル時。吾里へ入レシトテ。村境ニテ。ハ
衢比古神ハ衢比賣神久那斗神ヲ祀ルナリ。此三神ヲ障神ト白
ス。東因ニテハ。サイノカミト唱ヘテ。村里ノ境ニ。木ヲ殖或ハ石ヲ
建タル所アリ。コレ此神ノニマス所ナレバ。常ニコレヲ齋祀リ。臨時
ニ此祭ヲ爲サバ。則其所ニテ行フベレ。然ヤウノ所無クバ。清キ地
ヲ擇ビテ。注連繩ヲ張り。神座ヲ設ケテ祀ルナリ。其式ハ替ル事
ナシ。

鉦始祭

是ヨリ下。柱立棟祭ニテ。合セテ三條ハ。三ナエ匠ノ祭ルベキ

事ナレドモ。時ニヨリテハ神人ノ行フ事モ有レバ。其祭式ヲ記セリ。
○鉦始トハ。宮ニテモ。家ニテモ。作始ムル時ノ祭ナリ。其ハ先。工作
場近キ所ニ。竹ヲ立。注連繩ヲ張り。薦ヲ敷キ。高案ヲ居エ。幣ヲ
安ンジテ。手置帆負命彦狹知命ノ神座ト爲シテ。コレヲ祭ル。此
ニ柱神ハ。高天原ニシテ。天照大御神ノ大宮ヲ。造リ給ヒシ神ナレ
バ。エ匠等。ソノ神恩ヲ蒙リテ。違過ツ事无ク。作り終ヘン事ヲ祈
白スナリ。然ルヲ田舎ノ諸工人等。聖德太子ヲ祭ルハ。イトク譚
カキ事ナレバ。早ク此ニ柱神ニ。祭リ替フベシ。

○神座ノ前ニ。神供。神酒。太玉串ヲ獻ル料ノ案ヲ居エ。祭主ノ
座ヲ鋪キ。其所ヨリ二三丈モ離レタル所ニ。柱ニ作ルベキ材ヲ置

キ。其側ニ鉦一ロヲ物ニ載セ置キ。工匠其前ニ蹲居ス。工匠數人ナラハ。鉦ヲ其員ニ合セラ置クベシ。

○次ニ供物。太玉串。再拜兩段。祝詞。再拜兩段。八開手ヲ。總テ替ル事ナシ。

○次ニ工匠座ヲ起チ。神前ヲ拜シ。鉦ヲ執リテ。木ノ本中末ヲ。三遍ツ削リ鉦ヲ本ノ所ニ置キ。一拜シテ退去ス。次ノ工匠等ヲ然リ。

○竟リテ供物ヲ撤シ幣ヲ納メ直會ス。

柱立

コレハ柱ヲ建始ムル時ノ祭ナリ。マヅ宮ニテモ。家ニテモ。中央ノ柱

ヲ一本立テソノ四方ニ竹ヲ立。注連繩ヲ張り。神座ヲ設ケテ。手置帆負命彦狹知命ヲ祭り。此神ノ恩賴ニ依リテ。法ノ如ク。建終シメ給ヘト祈ルナリ。中央ノ柱便惡クバ。春ハ東。夏ハ南。秋ハ西。冬ハ北ノ柱ヲ一本立テ。其前ニテ祭ルベシ。

○供物以下。上ニ同ジ。工匠ミナ列居スベシ。

○次ニ直會竟リテ。工人等建始ムルナリ。

棟祭

棟材ヲ引上ル時行フベキ事ナレドモ。多クハ既ニ屋之上ヲ葺終リテ後祭ルナリ。

○屋脊ニ棚ヲ架ヒ。神座ヲ設ケテ。手置帆負命彦狹知命ヲ

祭リテ。宮ニテモ。家ニテモ。事無ク。作終ヘシメ。給ヘル。賽ヲ致スナリ。

○供物以下。直會ニ至ルマデ。上ノ祭ドモニ同ジ。

物成赤子其母をちばらに賣りて木の葉に
り難くはるるを中へて其よりのつらきに
りるるを物をもむらきくも難くはるる
を母もさくを志年の暮よりあのおひき
大御学乃つてまゝ仕へてはるる所も
神社の神主藤原朝臣宣隆のつらきに
つは大御政事乃つてまゝ

神皇正統記を以てて
 中世ハ法師乃神部ニ由るを以て
 之を以てて其の
 神部ニ由るを以てて
 今に於ては其の
 神部ニ由るを以てて
 論を以てて

法師の神部ニ由るを以てて
 神部ニ由るを以てて
 神部ニ由るを以てて
 神部ニ由るを以てて

明治二年の神部ニ由るを以てて

實義乃實人正位下實義縣主經春
 等々

神一はす初ハ何多たあも程
何とくく初くくくくくくく
なましくくくくくくくく
くくおのくくくくくくく
何くくくくくくくくくく
くくくくくくくくくく

道成らるる人乃中へ其書に
キミは神もも多事の上にも
キミは人にも多事の上にも
これ藤原道隆の書なり
キミは人にも多事の上にも
キミは人にも多事の上にも
キミは人にも多事の上にも

丁未の冬に
キミは人にも多事の上にも
キミは人にも多事の上にも
キミは人にも多事の上にも
キミは人にも多事の上にも
キミは人にも多事の上にも
キミは人にも多事の上にも

明治二年三月

賀茂大神宮上社下社
留後下賀茂經春

祭文例

從五位下藤原朝臣宣隆撰

正四位下賀茂縣主經春閱

元日

挂毛恐伎カケマモカシキ吾大神能ワガオホカミ大前オホマヘ介恐美恐美ニカシミカシミ母モ白久シラサクカサタシキ新伎ニハシキ

年能トシノカニタシキ新伎月能ニハシキツキノカサタシキ新伎日能ニハシキヒノカサヒ朝日能アサヒノトヨサカノホリニ豐榮登トヨサカノホリニ介拜ニヲロガシテツカハ仕ハ

奉流マツレオホミ大御饌大御酒オホミケオホミキ袁ヲスメカミ皇神能ミコノ御心ミココロニ介平久ニオホラケクヤスラケク安久ヤスラケク赤アカ

丹能穂ニホ聞食ニキコシメ登ト白須マラス如此仕奉カクツカヘマシ依ニ氏ヨリ今母イマモ往前ユクサキ
 母モ皇御孫命スメミマノミコト能ノ御世ミヨ衰ヲ手長タナガ能ノ大御世オホミヨ登ト湯津石村ユツイハハラ
 能ノ如ゴトク伊波比イハハ依ヨ佐斯サシ奉理マツリ茂御世モウミヨ能ノ足御世タラシミヨ能ニ福サキ
 開奉理ヘマツリ仕奉流ツカヘマツル親王諸王諸臣百官人等ミコタチオホキミタチマヘキミタチモノツカサノヒトタチ衰ヲ彌高イヤタカ能ニ
 彌廣イヤヒロ能ニ伊加斯イカカシ八桑枝ヤグハエ能ノ如ゴトク令ノ立チ榮給サカエシメタマ比ヒ天下泰カメノシタタヒ
 平ラカ能ニ公民等オホミタカラ衰ヲ守給モリタマ比ヒ惠給メクミタマ開ヘ登ト恐カシ美ミ恐カシ美ミ母モ白シラ久ク神那カミナ
 竟奉ヲヘマツラク久ク登ト白シラス

月祀
旬類ノ旬類或ヲ云ハ朔望フ朔望

挂母カケモ恐カシ伎キ吾皇神ワガスメガミ能ノ大前オホマヘ能ニ恐カシ美ミ恐カシ美ミ母モ白シラ久ク神那カミナ
 賀良母ガラモ皇御孫命スメミマノミコト能ノ手長タナガ能ノ大御世オホミヨ衰ヲ堅石カキハ能ニ常石トキハ
 介ニ齋奉理イハヒマツリ茂御世モウミヨ能ニ幸奉サキハヘマツリ氏テ萬世ヨロツヨ能ニ大座坐オホマシマサシ斯米シメ
 給タマ比ヒ仕奉流ツカヘマツル親王等王等臣等ミコタチオホキミタチマヘキミタチ衰ヲ幸サキ久ク平ヒラ久ク守給モリタマ比ヒ
 惠給メクミタマ比ヒ大神オホカミ能ノ氏子ウヂコ衰ヲ始ハジメ天下カメノシタ能ノ百姓オホミタカラ衰ヲ廣ヒロク久ク厚アツ
 久ク撫給ナデタマ比ヒ助給タスケタマ比ヒ取作流トリツクル穀等タナツモトモ衰ヲ八束穂ヤツカホ能ノ茂穂イハホ能ニ

成幸給閉登恐美恐美母白

節供 正月七日 三月三日

挂母恐伎吾大神能大前白久トシノハケケフヨキ

日仕奉流大御饌大御酒袁平久安久聞食登白

如此仕奉依氏天皇賀御世袁手長能御世登堅

石常石齋奉理伊加斯御世幸奉理阿禮坐

皇子等袁慈美給比百官人等天下四方固能

百姓至流麻傳平久永久守惠麻比幸給閉登恐

美恐美母白

常祀 一年一度又祭ハ春秋又フハ

挂母恐伎吾皇神能大前白久八十

日日波雖有今日能生日能足日姓名往水能清

伎河瀬 海能瀧 身滌祓斯伊豆能真

屋忌籠理氏大前宇豆能幣帛袁横山能如久

置高成オキタカナシ氏テ恐カシコ美ミ恐カシコ美ミ母モ稱辭竟奉タヘコトヲヘツラク久ク登ト白ラス如此仕奉カクツカヘテ

事コト袁ヲ皇神スメガミ能ノ御心ミココロ介ニ平久安タヒラケクヤスラケク久ク聞食キコシメシテ氏イ今イマ母モ以往ユクサキモ

皇御孫命スメミマノミコト能ノ手長タデガ能ノ大御世オホミヨ袁ヲ堅石カキハ介ニ常石トキハ介ニ齋イハヒ

依ヨサシ斯マツリ奉足マツリ斯シ御世ミヨ能ノ茂斯イカシ御世ミヨ介ニ幸開奉理サマハヘツリ氏テ天地オホメツチ

日月登供ヒツキトモ介ニ平久長タヒラケクナガク久ク大座坐オホマシ之シ米メ給タマ比ヒ親王諸王ミコタチオホキミタチ

諸臣百官人等ツツキミヤクモツツカサノヒトタチ袁ヲ母モ夜能守日ヨノモリヒ能ノ守介ニ守給比モリタマヒ氏テ皇ミコ

賀朝廷ガミカド介ニ彌高イヤタカ介ニ彌廣イヤヒロ介ニ伊加斯イカシヤ夜具波延ヤダハハエ能ノ如久ゴトク

立榮タチサカヘ氏テ令仕奉給ツカヘシラシメタマ比ヒ大神能オホカミ氏子ウヂコ袁始ハジメテ氏オホノシタ天下四方アマノシタヨモノ

圀能公民クニノミコニタカラ介ニ至流麻博イタルマデ平久安タヒラケクヤスラケク久ク護給比モリタマヒ惠タマ給タマ比ヒ

根圀底圀從ネノクニソクノクニヨリ理リ疎備荒備來ウツビアラビコム枉津日マダツヒ登ト云神能イフカミ枉マダ

事有世受コトアラセズ作食流ツクリタゲル穀物等タナツモノドモ袁ヲ豐介ニ牟久佐加ムサカ介ニ令得エシメ

給開登タマヘト鹿自物膝折伏カグシモノヒガフリフ世セ鵜自物頸根突拔ウチネツキヌキテ氏テ恐カシコ美ミ

恐カシコ美ミ母モ白ラス

辭別コトワケ氏テ白ラス久ク如此仕奉事カクツカヘシラシメシコト能ノ漏落モレオチム牟ム事コト乎ヤ婆バ神直日カムナホビ

○祭文例

大直日オホナホビニ見直ミナホシ斯聞直シキナホシ斯坐シマセ世登セトカシ恐美カシモミ恐美カシモミ母白モハス

春祭イハユル五穀ハユル豊饒ユル祈年ヲ祈ルニテ今年ナリ今年ノ

挂母恐伎ウケモカシ吾大神能大前オホカシ余恐美カシ母白モハス久大神オホカシ

袁ヲケ今日能吉日フノヨキロニ余稱辭竟奉タヘゴトヲヘツラ良久クハ波大神能氏子オホカシノウヂコヲ

始シメテ氏四方圀能百姓等モノクニノオホミタカラガタナロシニ賀手肱余水沫播垂向股ガタナロシニミチワカキタレムカモニ

泥播寄取作良牟奥津御年ヒガカキヨセテトリツラムオクツミトシ袁惡風荒水余令相ヲオシキカセカラキミツニカハセ

給波受八束穗能茂穗余成幸タマハズヤツカホノイカシホナレサキハヘ閉給比陸田種子等ヒタツカホノイカシホナレサキハヘ

甘菜辛菜余至流麻傳不成傷布事无久彌榮余令アマナカラナニイタルマテナラズソコナククイヤサカエニサカエ

榮給比彌足比余令足給閉登大前余御食御酒居シメタマヒイヤタラヒニタラハシメタマヘトオホマヘニミケミキスエ

竝稱辭竟奉久登白挂母恐伎大神祈白須母ナヘタヘゴトヲヘツラクトラスカケクモカシキオホカシノミマラスモレルク

神隨成幸閉給波婆初穗袁婆秋祭余獻牟登恐美カムナガラナレサキハヘタマハバハツホヲバアキノマツリニタテツラムトカシ

恐美母白給久登白カシモモヲシタマハクトラス

秋祭イハユル穀ハユル獻ユル且新嘗リ新嘗ヲニテ今年ナリ今年ノ新

挂母恐伎吾大神能大前余恐美恐美母白久大神ウケモカシオホカシオホカシオホカシオホカシオホカシ

能成幸 閉給幣流 今年能 焠能 初穗以 新嘗仕奉
登爲 進流 此大御膳 袁平久 安久 赤丹 能穗 尙聞
食登 白如此 仕奉 依 今 母 今 母 皇孫命 袁 堅石
尙 常石 尙 護奉 理 幸奉 理 天下 能 公民 袁 夜守 日守
尙 守幸 閉給 比 此里 尙 諸能 枉事 无久 家々 給足 比
人々 和 備 睦 備 氏 子孫 能 八十 連屬 尙 至 流 麻 傳 如
茂八 桑枝 令 立 榮 給 閉 登 恐 美 恐 美 母 白

宮地鎮謝祭

挂母 畏 伎 生井神 榮井神 綱長井神 阿須波神 波比
岐神 乃 大前 尙 恐々 毛 白 久 皇神等 乃 敷坐 此大宮
所 乎 所 乎 家 白 二 テ ハ 此 家 今 毛 往 前 毛 彌 益 尙 守
幸 給 氏 千 代 万 代 毛 平 久 安 久 下 動 美 寄 來 年 地 震
乃 災 无 久 大 雨 零 利 水 溢 留 登 毛 大 地 乃 岩 崩 傷 布
事 无 久 堅 石 尙 常 石 尙 守 給 幸 給 幣 登 禮 代 乃 幣 帛

乎サ捧持グモナテ氏カシ恐カシ美ミ恐カシ美ミ母モ白ハス

大殿祭 假遷宮正遷宮行トモ

挂毛カケモ畏カシ伎キ屋船ヤフネ句ク能智チノカシ神屋ヤフネ船フネ豐宇トヨウ氣ケ姬神メカシ乃ノ大オホ

前マヘ余ニ恐カシ美ミ恐カシ美ミ毛モ白ハス久ク此大宮コノオホミヤ乎ヲ

神隨守賜幸賜カミナリモリタヒサキハタマヒテ氏オホ大宮地ニヤドコロ乃ノ底津岩根ソコツツイハネ乃ノ極美キハミ

下津網根昆虫シタツツネハフムシ乃ノ災无イハナク久ク高天原タカマテノハラ波ハ青雲アヲクモ乃ノ靄カゲ久ク極キハ

美ミ天アメ乃ノ血垂飛鳥チタリトトリ乃ノ災无イハナク久ク築立ツキタテ多タ留ル柱桁梁戸牖ハシラケタスツト

乃ノ錯比キカヒ動鳴事无トヨナルコトナク打堅ウチカタ多タ留ル釘チリ乃ノ緩比ユルヒ取葺トリアフ留ル

草乃カヤノ極或目キハ噪ソ伎キ无ナク久ク御床都ミヤカツヒ比ヒ乃ノ佐夜伎无サヤギナク久ク家人家人ニノ

伎伊豆テイハ都志ツチ伎事キコト无ナク夜ヤ伎夜キヤ目メ乃ノ伊須イヌ平久安ヒラクヤス守モリ

幸給サハタマ幣登ヘト畏カシ美ミ畏カシ美ミ母モ白ハス

假遷宮本殿 大宮時假造替へ遷奉ル葺換云ハト

挂母恐伎カケモカシキ吾大神能大前オホノカミノオホマヘ余ニ恐カシ美ミ恐カシ美ミ母モ白ハス久ク天能アメノカミ

御蔭日能御蔭ミカゲヒノミカゲ登隱理坐トカクリマ須此大宮能スコノオホミヤノカミ葺替ハ此間コノマ時上トキノウヘ

五^ノ字^ハ流^ル極^ニ加^フ能^ハト^ベ云^フシ^ク許^コ々^ハ良^ラ能^ノ年^ト月^ツ袁^ヲ經^ヘ自^オ然^ソ余^カ朽^ラ

損^ソ禮^ノ奴^ヌ流^ル袁^ヲ此^コ度^ノ新^タ久^ク
字^ヲ替^フ韋^ノ替^トニ^ハ換^フ新^バ久^クレ^ニ仕^ツカ

奉^ツ流^ル介^ニ依^リ氏^テ今^ケ日^フ能^ノ今^コ夕^ヒ能^ノ吉^ヨ日^キ能^ノ吉^ヨ夜^ヨ介^ニ恐^カ美^ミ恐^コ

美^ミ母^モ假^カ宮^カ介^ニ遷^ウ奉^ム年^ム登^ト須^ス此^コ狀^ノ袁^ヲ平^ム久^ク安^ク聞^ク食^ク

神^カ隨^ナ遷^リ幸^シ勢^セ登^ト禮^レ代^ニ能^ノ幣^ヒ帛^ヲ袁^ヲ捧^サ持^テ氏^テ恐^カ美^ミ恐^コ美^ミ母^モ

稱^タ辭^ゴ竟^ト奉^ム久^ク登^ト白^ス

同 假殿

挂^カ母^ノ恐^カ伎^ノ吾^ガ大^ニ神^ノ能^ハ大^ニ前^ニ介^ニ恐^カ美^ミ恐^コ美^ミ母^モ白^ス久^ク大^ニ宮^ニ

造^ツ功^コ竟^ト
韋^ノ替^トノ^ハ時^ニス^ベハ^シ大^ニ宮^ニ奉^ム良^ク年^ム日^ヒ麻^ニ傳^フ波^ハ此^コ行^キ

宮^ミ袁^ヲ志^シ豆^ツ宮^ニ登^ト神^ノ隨^リ平^ク久^ク安^ク大^ニ座^ニ坐^ス勢^セ登^ト恐^カ美^ミ恐^コ

美^ミ母^モ白^ス

正遷宮假殿
サ^本シ^ノ宮^ニル^ニ還^リ云^フ坐^ス

挂^カ母^ノ恐^カ伎^ノ吾^ガ大^ニ神^ノ能^ハ大^ニ前^ニ介^ニ恐^カ美^ミ恐^コ美^ミ母^モ白^ス久^ク瑞^ニ能^ハ

御^ミ殿^ノ既^ニ介^ニ仕^ツ奉^ム竟^ト奴^ヌ
奉^ム奴^ヌ替^トノ^ハ時^ニス^ベハ^シ韋^ノ替^ト是^コレ^ニ介^ニ依^リ氏^テ

此某月某日能夜袁吉日能吉夜登齋定氏恐美恐
美母返奉年登須故如此能狀袁大神能御心介平
久安久聞食氏神長柄還幸行勢登恐美恐美母白

同本殿

挂母恐伎吾大神能大前介恐美恐美母白久天之
御蔭日之御蔭登造仕奉禮流
瑞之御殿袁安宮能志豆宮登故能如安久穩介鎮

禱替流ノ時ニハ禱替

坐氏天望賀朝廷堅石介常石介守奉理幸奉理
天下平久惠賜比助賜閉登大御饌大御酒袁机物
尔置足波斯氏恐美恐美母稱辭竟奉良久登白

祈雨 禱禱ノ時ニ雨

挂母恐伎吾大神能大前介恐美恐美母白久此頃
日麻泥久雨不零斯有禮婆公民能農業皆悉介被
枯損奴吾大神能蒼生袁惠美給布靈介依氏斯此

災波可止登恐自物思議氏今日能生日能足日能
 禮代能幣帛袁捧持氏恐美恐美母稱辭竟奉良久
登白故如此能狀袁平久安久聞食氏甘雨袁忽能
令零給比氏能穀草能片葉能至及彌足比令
足給比彌榮令榮給開登能恐美恐美母白給波久
登白能

祈晴霖雨祈時ニ

挂母恐伎吾大神能大前能恐美恐美母白久頃日
 霖雨難晴氏百姓能農業流損奴吾大神能厚助能
 依氏斯此灾波可止登恐自物思議氏今日能生日
能足日能禮代能幣帛袁捧持氏恐美恐美母稱辭
竟奉流狀袁平久安久聞食登白如此仕奉能依氏
 此霖雨忽晴氏百姓等賀手肱能水沫搔垂向股能
 泥搔寄取作流奧津御年袁始氏作々物等袁成

傷波受豐年久佐加令得給閉登恐美恐美母
白

同報賽

驗雨アリ祈シリ晴ノヲ賽ナリテ靈

挂母恐伎吾大神能大前余恐美恐美母白久先

甚斯伎早有祈晴斯報賽ニハ霖雨公民能農稼

枯年登為斯時吾大神能大前余雨令零祈晴ハ雨

令止ント白給閉登祈白斯伎然流袁祈白斯々母驗

久ヨキアメフラセ甘雨令零給幣流事袁貴備喜斯備謝能

幣帛袁捧持氏恐美恐美母稱辭竟奉良久袁平久

安久聞食登白

門神祭

挂母畏伎櫛磐牖神豐磐牖神能大前余恐美恐美

毛白此御門余門家申ステハ湯津磐村乃如

塞坐四方四角從利疎備荒備來天能麻我都

比登云神乃言武惡事ヒトイフカミノイハムマカコトニ。アヒマシコリ。アヒクチアノタコト相麻自許利相口會賜事
无ナク。ウヘヨリ自上往カバ。ウヘヲ波上ハ。ウヘヲ乎護モリ。シタヨリ利自下往シタヨリ波下シタヨリ乎護モリ。マチフセギ利待防
掃却言排坐ハラヒヤリノヒツケマシテ。アレタニ氏朝ハ。朝余波ハ。波御門ニ。カド乎開ハ。開夕ハ。夕余波ハ。波御門ニ。カド乎閉ハ。閉

氏。鳥居ヲ祭ル時ニ御。此ニ。御。去ルナリ。又。参入

罷出人名マカヅルヒトノナヲトヒシロシメ志シ。トガアヤチアラム各過有ハ。年乎婆ハ。婆神直日大直カムナホビ。オホナホ

日余見直聞直坐ヒト。ニ。ミ。ナホシキ。ナホシマシテ。タヒラケク。ヤラケク。ニモリサキハタマ氏平久安ハ。平。久。安守幸給ト。守。幸。給閉登禮代ト。閉。登。禮。代。乃乃

幣帛ヒト。帛乎捧持ハ。捧。持氏恐々ハ。恐。々毛稱辭竟奉久登白モ。タハゴトヲヘマツラク。ト。登。白

井神祭

挂毛畏カケモ。カシコキ。ミ伎彌都波能賣神御井神鳴雷神乃大前ハ。ハ。ノ。メ。カミ。ニ。キ。ノ。カミ。ニ。ル。イ。カ。チ。カ。ミ。ノ。オ。ホ。マ。ヘ。ニ。余

畏美畏カシコキ。カシコキ。ミ美毛カシコキ。ミ白久ハ。白。久此御井コ。ノ。ミ。井乎廣ハ。廣久厚ハ。久。厚守賜ト。守。賜比幸賜ハ。比。幸。賜

比ヒ氏ハ千代萬代チ。ノ。チ。ヨ。ヨ。ロ。ツ。ヨ。モ。マ奴流ヌ。ル。ム事无コト。ナク久濁ハ。久。濁留事无ル。コト。ナク久ハ。久酒留ハ。酒。留

事无コト。ナク久ハ。久淺留ハ。浅。留事无コト。ナク久ハ。久和伎水ハ。和。伎。水乃甘ハ。乃。甘伎水ハ。伎。水乃清ハ。乃。清伎水ハ。伎。水乃

佐夜サ。ヤ氣ハ。氣伎水ハ。伎。水乎彌多ハ。乎。彌。多余彌廣ハ。余。彌。廣余授賜ハ。余。授。賜比與賜ハ。比。與。賜比諸ハ。比。諸乃

穢ケガレ。ヲ。ハラヒタマ比祓給ハ。比。祓。給比清給ハ。比。清。給比過犯事ハ。比。過。犯。事乃有ハ。乃。有年ハ。年乎婆ハ。乎。婆見直聞直ハ。見。直。聞。直

坐マシテ夜守日守ヨノモリヒノモリ余ニ守幸給モリサキヘタマ閉ヘト登禮代トキヤシロ乃幣帛ニテグラフ乎捧持サケモチ
氏テ恐々カシミクモ毛稱辭竟奉タヘゴトヲヘマシラカトマラ久登白トマラ

寵神祭

挂毛カケマクモ畏カシコキ伎齋火武主比神奥都比古神奥都比賣神ホムスヒカミオキツヒコノカミオキツヒメノカミ
乃大前オホマヘ余ニ恐美恐美カシコミカシコミ毛白久一日モマサクヒトヒ毛不落吾大神等モオチズワカオホカミタチ
乃高ノ伎貴タカキ伎靈キタフトキ乎被流事ミタラフコトヲ尊美喜美タフトミウレシ今日乃生日ケフノイクヒ
乃足日ノタルヒ余ニ禮代ニ乃幣ニ袁捧持サケモチ氏稱辭竟奉タヘゴトヲヘマシラカトマラ久乎平久トモナク

安久ヤスラク聞食キコシノセ登ト白如此仕奉ツカヘツル余依ニヨリ氏今テイマ毛今モイマ毛家内モイヘヌチ乃
人諸我手ヒトモロクガテ乃躅足ノガヒアレ乃躅ノガヒ余過犯ニオモナオカ須事スコト乃在アラム乎乎ヲバ婆バ神カミ
直日大直日ナホビオホナホヒ余見直聞直坐ニオミナホレキオホレシ氏可畏テカシコキ伎火キヒ乃灾不令ワサヒアラセ
有夜守日守ズヨノモリヒノモリ余守給幸給モリタマヘサキヘタマ閉ヘト登恐美恐美トカシコミカシコミ毛白トマラ

祈漁獵

挂毛ソレノモリ畏カシコキ伎吾大神乃大前余ホムスヒカミオキツヒ恐美恐美カシコミカシコミ毛白久トモナク某圀ソレノクニ
某郡某村ソレノコホリ乃海人何某アマナニガシ我網子調ガアゴトノヘテ引網ヒクアミ余綿積ニワタツミ乃ノ

贍乃廣物贍乃狹物乃有乃盡漏事無久落事无久。
取得之米給比雨零風吹登母海幸違過都事无久。
守給比幸給閉登禮代乃幣帛乎捧持氏恐々毛稱
辭竟奉久登白

祈出船

挂毛恐伎吾皇神乃大前余恐美恐美毛白久何某
伊今船出為氏某圀某里余行牟登為乎吾皇神乃

高伎貴伎靈余依氏行左來左乃海路余風浪乃愁
无久守給比幸給比氏平氣久加多良可余歸之給
幣登禮代乃幣乎捧持氏恐々毛稱辭竟奉久登白

同報賽

挂毛畏伎吾大神乃大前余畏美畏美毛白久先余
何某我某圀某里余船出為流時吾大神乃靈余依
平久安久歸之給閉登祈白伎然留乎祈白之

毛灼久海若乃可畏伎道都々麻波受面變不爲
之家還著之米給幣流事乎尊美喜美禮代乃
幣捧持氏謝仕奉良久乎神隨聞食登畏々毛白

難船報賽

挂毛畏伎吾大神乃大前余恐美恐美毛白久何某
伊先余某海乎涉留時暴風余逢命危有之加婆
吾大神余助給比救給閉登祈白之伎然乎祈白之

之毛驗久助給救給幣流事乎貴美喜之美禮代乃
幣乎捧持氏謝仕奉良久乎平氣久安久聞召登恐
恐毛曰

船玉祭

船玉神登御名波白氏稱辭竟奉良久波神隨毛吾
皇神乃御靈賜利船上波牀余居如久水上波土
乎行如久撫給比惠給比海積乃澳余毛邊余毛可

恐コ伎キ風カ波ハ 尒ニ逢ア世セ給タ波ハ受オ吾ワ大神オホカミ守モ給タ比ヒ幸サキ給タ閉ト登ト

禮レ代ト乃ノ幣ヒ帛フ半ハ捧サ持テ氏ノ恐コ美ミ恐コ美ミ母ハハ稱サ辭シ竟ケ奉ル良ニ久ク

登ト白ス

祈旅程

挂カ毛モ畏オ伎キ吾ワ皇ミコ神カミ乃ノ大オホ前ノ尒ニ恐コ美ミ恐コ美ミ毛モ白シ久ク何ナニ某ガ

伊イ今イマ上ウヘ道ミチ爲シ氏ノ某ナニ圀ノ某ナニ里ノ尒ニ行ユ牟カ登ト爲ス乎ヲ吾ワ大神オホカミ乃ノ

高タカ伎キ貴キ伎キ恩オン賴ライ尒ニ依ヨリ氏ノ往ユク左サ來ク左サ能ノ路ミチ乃ノ間マ都ツ々ム牟ム

事コト无ナ久ク守モ給タ比ヒ幸サキ給タ比ヒ内ノ平ヘイ氣キ久ク安ヤ氣キ久ク歸カ之シ給タ閉ト

登ト禮レ代ト乃ノ幣ヒ乎ヲ捧サ持テ氏ノ恐コ々ク毛モ稱サ辭シ竟ケ奉ル久ク登ト白ス

同報賽

挂カ毛モ畏オ伎キ吾ワ大神オホカミ乃ノ大オホ前ノ尒ニ畏オ美ミ畏オ美ミ毛モ白シ久ク先サキ尒ニ

何ナニ某ガ我ガ某ナニ圀ノ某ナニ里ノ尒ニ旅リ立ツ爲ス留ル時トキ吾ワ大神オホカミ乃ノ恩オン賴ライ尒ニ

依ヨリ氏ノ平ヘイ氣キ久ク安ヤ氣キ久ク歸カ之シ給タ閉ト登ト祈ノ白シ之シ伎キ然サ流ル乎ヲ

祈ノ白シ之シ毛モ驗シ久ク道ミチ乃ノ長ナガ手テ乎ヲ都ツ々ム麻マ波ハ受ズ面オモ變カ不レ

為之氏家ニカヘリツカシメ給幣ハルコトヲ流事コトヲ尊美タトミウレシ喜之美シメ
禮仕奉良ヨシク久手コトヲ神隨聞食カムカラキユシメ世登禮代セトキヤジロ乃幣ニカハラフ捧持サゲモチ氏ニ
恐美カミミ恐美カミミ母モ稱辭竟奉タヘコトヲヘマシラク久登コトヲス白マラス

祈造酒

挂毛畏伎吾大神乃大前オホノサキ余恐美オノカミミ恐美オノカミミ毛白モクシロ久コトヲ何某ナニカシ
我酒釀ガサケカム牟業ムサヒ余吾大神神長柄高オノワガオホカミナカハラタカキ伎貴タフトキミ恩賴オンライ乎コトヲ幸チカ
閑坐ヘマシテ氏ニ朝夕アサユツ余緩事无オノユルコトナク久コトヲ怠事无オノサスルコトナク久コトヲ彌勤イヤツチタ余ニ勤ツチタ彌結イヤツチタ

余結ニ氏ニ方乃任違事无マテク各コトナク久過事无コトヲヤソコトナク久好酒乃美酒乎コトヲヨキサケノウマサケヲ
釀成之米カミナリシメ給比ヒ日ヒ々々余給足オノツギタラヒ比ヒ月ツキ々々余富榮オノトミサカエ氏ニ子孫ウミノコ
乃彌繼々ノイヤツキ余家門オノイヘカド起オコ左之米サノメ給比ヒ廣ヒロ米之米メメ賜比タマヒ
妻子奴メコヤツコ始ハジ氏ニ手人丁等テヒトヨボラ余至オノイタル留麻ルマ低デ己オノレ我ガ垂々有タリ
之米受シメメズ邪心穢行无ヤコキナキヤサナク久日コトヲヒ余異オノイハレ余伊蘇オノイソ之美シメ勤ツチタ米之メメ
米賜閉登メタメ禮代レト乃幣ニカハラフ捧持サゲモチ氏ニ恐美カミミ恐美カミミ毛モ稱辭竟タヘコトヲヘ
奉マシラ久登コトヲス白マラス

御年神祭

大年神御年神若年神オホトシノカミ。トシノカミ。ワカトシノカミ。登御名ト。ナ。波白ハ。シ。斯氏シ。タ。稱辭竟奉ト。フ。ヘ。マ。ツ。ラ。
 久波クハ。每年トシノハニ。余春ハルノ。初余ハジメニ。此神棚コノカミダナニ。招奉ヲキマツリテ。氏シ。朝夕アサトヨニ。余御ニ。トシ。
 祭仕奉マツリツケテ。久平クヘ。平安ヤスラク。久安クヤス。聞食キコシメセ。白シラス。如此仕奉ツカヘマツルニ。余依ヨリテ。氏シ。
 手肱タナヒデニ。余水沫搔垂向股ニ。ナワ。カキタレ。ムカニ。余泥搔寄ニ。ヒチ。カキヨサテ。取作トリツクラ。奥津御オクツミ。
 年乎始トシヲハジメテ。氏シ。穀等百タカラキドモ。ヒト。クサキニ。草木イタルマデ。余至ナラズソコナ。麻低マ。ヒ。不成傷布ナラズ。コトナ。事无コトナ。
 蝗及種々クノナムシマクサ。乃病不令有雨風時節ヤヒ。アラセズ。アメ。カセヲ。余協ニ。カチビ。比ヒ。氏シ。農業ナリハヒ。

乃便乎失波受ヲギテヲ。ウキハズ。守給幸給モリ。タ。サ。キ。ヘ。タマ。閑登ト。カシ。恐美ニ。カシ。恐美ニ。カシ。毛モ。稱辭竟ト。フ。ヘ。マ。ツ。ラ。
 奉久登白マツラク。ト。マツス。

鎮火祭

高天原タカマノハラニ。尔神留坐皇親神漏義神漏美カミヅマリマス。ス。ミ。カミ。ム。カミ。ロ。ギ。カミ。ロ。ミ。能命持ニ。ミ。ト。モ。チ。テ。ス。メ。皇ミコト。
 御孫命ミマノミコト。波ハ。豐葦原トヨアシハラ。乃水穗圀ニ。ミツ。ホ。ク。ニ。ヲ。安圀ヤスクニ。登平ト。タラケク。久所知食レ。ロ。シ。メ。セ。
 登天下所寄奉ト。カノ。シ。タ。ヨ。サ。シ。マ。ツ。リ。志シ。時余事寄奉ト。キ。ニ。コト。ト。ヨ。サ。シ。マ。ツ。リ。志シ。天都詞太詞事アマツノリトノフトノリトコトヲ。乎ヲ。
 以モ。氏シ。申久マサク。神伊佐奈伎伊佐奈美イ。サ。ナ。キ。イ。サ。ナ。ミ。乃命妹背二柱嫁ニ。ミ。ト。イ。モ。セ。フ。タ。ハ。シ。ラ。ト。

繼給ツギタマヒ氏ニ國クニ乃ハ八十國ヤソクニ嶋シマ乃ハ八十嶋ヤソクニ乎ヲ生給ウミタマヒ比ヒ八百萬ヤホヨソク
神等カニクチ乎ヲ生給ウミタマヒ比ヒ氏ニ麻奈弟マナオト子コ火結ホクスビ神カミ衰シ生給ウミタマヒ氏ニ美
保斗ホト被燒ヤカエ氏ニ石隱坐イハガクリマシテ夜七夜ヨハナ、ヨ、ヒハナ晝七日ナカ、ア吾ヲ奈見給ナミタマヒ
比ヒ曾ソ乃ガ奈妹ナセ乃ノ命ミコト登ト申給マシタマヒ比ヒ伎キ此コノ七日ナカニ余ハ波タラ不足ズ氏ニ
隱坐カクリマス事奇コトアヤシ登ト氏ニ見ミ所行ソコハ須ス時トキ火ヒ乎ヲ生給ウミタマヒ氏ニ御保斗ミホト乎ヲ
所燒坐ヤカエマシ伎キ如カ是時ルトキニ余ガ吾名妹ナセ乃ノ命ミコト能ノ吾ヲ見給ミタマヒ布奈フナ
登ト申マシ乎ヲ吾ヲ見ミ阿波多志アハタシ給タマヒ比ヒ都ツ登ト申給マシタマヒ氏ニ吾名妹ナセ

乃命ノミコト波ハ上津ウハツ國クニ乎ヲ所知シロシメ食メ倍ツ志シ吾ハ波シタツクニ下津シタツクニ國クニ乎ヲ所知シラム
牟登ムト白シラ氏ニ石隱給イハガクリタマヒ氏ニ與美津ヨミツ枚坂ヒラサカ余ニ至坐イタリマシ氏ニ所思オモシ食メ
久ク吾名ナセ妹命ニ能ノ所知シロシメ食メ上津ウハツ國クニ余ニ心惡子ココロアシキコ乎ヲ生置ウミオキ氏ニ
來奴キヌ登ト宣ノ氏ニ返坐カヘリマシ氏ニ更生サラニミヨウ子ウミタマフ水神ミツノカミ匏川ヒヤカハナ菜ハニヤマビメ埴ヨ山ヤマ姬ヒメ四ヨ
種物クサノモノ乎ヲ生給ウミタマヒ氏ニ此コノ能ノ心惡子ココロアシキコ乃ノ心荒ココロアラ毘ヒ曾ソ婆バ水神ミツノカミ匏ヒ
埴山ハニヤマ姬ヒメ川カハナ菜ハニヤマ乎ヲ持モチ氏ニ鎮奉ツクマツ禮レ登ト事コト教悟ヲシサト給タマヒ伎キ依ヨリ此コノ氏ニ
稱辭タハゴト竟奉者ハマツラクハ此里コノサト余ニ御心ミココロ一速イチハヤ備給ビタマヒ波ハ自登ジト爲シ氏ニ種タマヒ

種能幣乎。机代。尔置所足。氏天津祝詞能。太祝詞事。
以氏稱辭竟奉久登申。

祈禱病五章

第一章

他村ニ病ハ無キ時ノ祈ナリ。其

挂毛畏伎。吾大神乃大前。尔恐美恐美毛白久。此頃
四方乃里々。尔病起。氏人多。尔惱。氏失奴。留毛數多
有乎。此村波之。毛吾皇神乃敷坐里。登神隨恩賴乎。

幸給布里。尔之有禮。婆平久安。久有經事乎。尊備喜
備。今毛今。彌益々。尔守給幸給。氏村乃内。尔波諸
病不令有。氏子等我心毛安。久轉樂。久守給幸給。登
今日乃生日。乃足日。尔禮代乃幣帛乎。捧持。氏恐美
恐美母。稱辭竟奉。良久乎。平久安。久聞食。登白。

第二章

吾村ニ病有ル時ノ祈ナリ。

挂毛畏伎。吾大神乃大前。尔恐美恐美毛白久。此里

波之毛モ吾大神ワガオホカミ乃鎮坐シヅカサマシテ氏神ウヂノカミ隨靈ツラカガラ幸閉坐チハヘマ須里スサリ余之オノ
有禮アリレ婆バ浦安ウラヤス伎樂キガク伎里キサト登ト氏子ウヂノコ乃諸人等喪モロビトラ无ナク久ク事コト
无ナク久ク有經アリヘ之シ乎ヲ頃日コノゴロムラノウチ村内ノ余ニ病起ヤマヒオリテ氏ウヂ人多ヒトサハニ失奴ウセヌ此コ
乎ヲ思布オモフ余ニ吾大神ワガオホカミ乃ノ氏子等ウヂノコ乎ヲ守給幸給モリタマヒサキハタマフ布高フタカ伎貴キタタ
伎キ恩賴ニタノユ乎ヲ被里カフリテ氏ウヂ之シ此病コノヤマヒ波ハ可止ヤムベシト登ト恐カレコシ自物モノ思議オモヒカリテ氏ウヂ
今日ケフ乃ノ生日イクヒ乃ノ足日タルヒ余ニ禮代キヤジロ乃ノ幣乎ヒタマフ捧持サゲテ氏ウヂ廣ヒロク久ク厚アツク
久ク稱辭クダヘゴトヲヘツル竟奉狀アツク乎ヲ大神オホカミ乃ノ御心ミココロ余ニ平久タラシク安ヤラケク久ク聞召キコメセト登ト

白マラス如此仕奉ツカヘマツル余ニ依ヨリ氏ウヂ從今後シヨリノチハ波ハ村中ムラノナカ余ニ此病コノヤマヒ保毘許ホビコ
留事ルコト无ナク久ク惱ナヤム牟ム物モノ乎ヲ婆バ速スヤケク久ク瘡給イヤシタマ比ヒ直給ホシタマ比ヒ氏ウヂ堅石カキノ
余ニ常石トキハ余ニ命長イフチナガク久ク夜守ヨノモリ日守ヒノモリ余ニ守幸給モリサキハタマ閉登ト恐オシ美ミ恐カシ
美ミ毛モ白マラス

第三章

那病ナヤマヒ有アル時トキ大那牟遲オホナムチ神カミ少名毘古シヨナヒコ

挂毛カケモ畏カシ伎キ大那牟遲オホナムチ大神オホカミ少名毘古シヨナヒコ大神オホカミ二柱フタバシラ大オホ
神カミ乃ノ大前オホマヘ余ニ恐カシ美ミ恐カシ毛モ白マラス比日ヒノヒ四方ヨモト八方ヤモト乃ノ里サト

里 余病起 氏人多 余惱 氏失 奴留 毛不少 事 人々
甚 久 歎愁 氏諸 共 余議 甚智 氏古 乃法 乃任 大神等
招奉 齋奉 氏蒼 生 乎哀 給 布 廣 伎 厚 伎 恩 賴 乎 乞
祈 奉 年 登 爲 氏 今日 乃生日 乃足 日 余禮 代 乃幣 乎
捧 持 氏 大神 乃 大前 乎 恐 美 恐 美 毛 稱 辭 竟 奉 久 登
白 如 此 仕 奉 事 乎 平 久 安 久 聞 召 氏 神 代 乃 初 乃 時
大神 等 乃 諸 乃 病 乎 治 留 藥 方 登 禁 厭 方 登 乎 定 給
オホカニタチノモロクノヤマヒヲヲサムル。クスリノイリト。マシナヒノリト。ヲ。サタマタマ

比 氏 今世 余至 迄青 人草 乎助 給 比 救 給 布 恩 賴 乎
神 隨 幸 坐 氏 病 臥 世 流 諸 人 等 乎 直 給 比 療 給 比 撫
給 比 惠 給 登 恐 美 恐 美 毛 白
カミナガニ。チハヘマシテ。ヤミコヤセ。モロビトヲ。ヲ。ナホシタマ。ヒ。イヤシタマ。ヒ。ヲ。テ

第四章 山城 綱 八坂 神 社 尾 張 四 津 島 神 社 用 之

挂 毛 畏 伎 健 速 須 佐 之 男 大 神 乃 大 前 余 畏 美 畏 美
毛 白 久 此 頃 此 村 中 余 病 有 氏 人 多 余 身 失 奴 故 是
乎 以 氏 村 人 等 進 毛 不 知 退 毛 不 知 思 歎 氏 諸 共 余

相議アヒカガリ氏テ吾アガ大神オホカミ乃ノ高タカ枝キ貴タトキ恩ニタラフ賴コヒネ乎ヤ乞ツラ禰ム疑ト奉ト坐ト奉
爲シ氏テ今日ケ乃フ生日イクヒ乃ノ足タル日ヒ乃ノ大神オホカミ乎コノヒモ此コノ神ヒモ籬フキ乃ニ坐マセ奉
利リ氏テ恐カシ美ミ恐カシ美ミ毛モ稱クハ辭ゴト竟ヘ奉マツ良ラ久ク乎フ神カム隨カ聞カラ召キコ登シ白マラス
如此カ仕ツカ奉ヘ余ニ依ヨリ氏テ遠ト津ホツ神カミ代ヨ乃ノ大神オホカミ乃ノ吉キ備ビ罔クニ余ニ幸イデ
行マシ之シ時トキ蘇ソ民ミ將シ來ク及マ其ソノ妻ツマ子コ乎フ救ス給ヒ出ヒ助タ給マ幣ヘ流ル事コト
乃ノ如ク久ク今イマ毛モ惱ナ牟ム里サト人ビト等ラ乎フ立タ所トコロ乃ニ瘡イヤシ給タ比ヒ直ナ給シ閉ヘ
登ト前オホ種マヘ種クサ乃ノ幣ヒラ乎フ机ツク代エシロ乃ニ置オキ足タラ波ハ之シ氏テ恐カシ美ミ恐カシ
大オホ前マヘ種クサ種ク乃ノ幣ヒラ乎フ机ツク代エシロ乃ニ置オキ足タラ波ハ之シ氏テ恐カシ美ミ恐カシ

美ミ母モ稱クハ辭ゴト竟ヘ奉マツ久ク登ト白マラス

第五章 願主時ヨリ頼フニ來

挂ツ毛モ畏オソ伎キ吾オ皇ホ神カミ乃ノ大オホ前マヘ余ニ畏オソ美ミ母モ白ク久ク某ソレ罔クニ
某ソレ郡ノ某ソレ里ノ人サト何ビト某ナニ伊イ某ソレ病ヤ有ヒ氏テ月ツキ日ヒ佐サ麻マ禰ネ久ク病ヤ臥コヤ
世セ利リ故カ是コ乎フ以モ祭マツル主ナリ名ナ余ニ事コト議ハカリ氏テ雖カシ畏オソ吾オ皇ホ神カミ乃ノ大オホ
前マヘ乎フ齋イハヒ奉マツリ氏テ蒼アラ生ヒト乎フ惠メ給タマ布フ恩ニ賴ヨ乎コヒ乞ヒ祈ノ奉マツ年ム登ト爲シ
氏テ今日ケ乃フ吉ヨキ日ヒ乃ノ吉ヨキ時トキ余ニ名ナ余ニ禮キヤ代ジロ乃ノ幣ヒラ乎フ捧サ持ゲ氏テ

恐美^{カシ}恐美^ニ毛^モ稱辭^ケ竟奉^ヘ良^ラ之^シ牟^ム挂^ケ毛^モ畏^{カシ}伎^キ皇神^{スメガニ}此^{コノ}狀^{アハセ}
乎^ヲ平^{タヒラケク}安^{ユラクク}久^{キミシメシ}聞^キ召^メ氏^ニ何^{ナニ}某^ガ我^ガ惱^{ナヤマ}牟^ム病^{ヤマヒヲ}乎^ヲ速^{スヤカニ}直^{ナホシタ}給^ヒ瘡^{イヤシ}
給^タ比^ヒ堅^{カキハ}磐^ハ常^{トキハ}磐^ハ命^{イノト}長^{カク}久^ク夜^{ヨノ}守^{モリ}日^ヒ守^{モリ}給^ニ幸^{サキハタス}給^ス
登^ト畏^{カシ}美^ニ畏^{カシ}美^ニ母^モ白^{ヲス}

障神祭

大^{オホ}八^{ヤチ}衢^{タニ}余^ニ湯^ツ津^ツ磐^{イハ}村^{ムラ}乃^ノ如^ノ久^ク塞^{ササ}坐^マ皇^{スメ}神^{カニ}等^{タチ}乃^ノ大^{オホ}前^{マヘ}余^ニ
恐^{カシ}美^ニ恐^{カシ}美^ニ母^モ白^{ヲサク}久^ク八^{ヤチ}衢^{タニ}比^ヒ古^{コノ}神^{カニ}八^{ヤチ}衢^{タニ}比^ヒ賣^メ神^{カニ}久^ク那^ナ斗^ド

神^{カニ}登^ト御^ミ名^ナ波^ハ白^{シテ}氏^ニ稱^ケ辭^ヘ竟^ヘ奉^ラ久^ク波^ハ根^ネ因^{クニ}底^{ソコ}因^{クニ}從^{ヨリ}里^{アラ}鹿^カ
備^ビ疎^ウ備^ビ來^コ牟^ム物^{モノ}余^ニ相^{アヒ}率^ヒ相^{アヒ}口^{クハ}會^ア給^タ事^{コト}無^ク氏^ニ下^{シタ}行^{ユカ}者^バ下^{シタ}
乎^ヲ守^{モリ}理^リ上^{ウヘ}往^{ユカ}者^バ上^{ウヘ}乎^ヲ守^{モリ}理^リ夜^ヨ之^ノ守^{モリ}日^ヒ之^ノ守^{モリ}給^ニ幸^{サキハタス}
給^タ登^ト禮^レ代^{ダイ}乃^ノ幣^ヒ乎^ヲ八^{ヤチ}取^{トリ}乃^ノ几^コ余^ニ置^{オキ}所^{カラ}足^{ハン}氏^ニ進^{クニ}流^{ツル}宇^ウ豆^ヅ
乃^ノ幣^ヒ乎^ヲ平^{タヒラ}氣^ケ久^ク聞^キ食^シ氏^ニ大^{オホ}八^{ヤチ}衢^{タニ}余^ニ湯^ツ津^ツ磐^{イハ}村^{ムラ}之^ノ如^ノ久^ク
塞^サ坐^マ氏^ニ此^{コノ}某^ガ村^{ムラ}余^ニ波^ハ諸^{モロク}乃^ノ病^{ヤマヒ}及^マ種^{タク}々^{サダ}乃^ノ枉^マ事^{ゴト}无^ク久^ク神^{カニ}
隨^カ守^シ幸^{サキハタ}給^タ登^ト恐^{カシ}美^ニ恐^{カシ}美^ニ毛^モ稱^ケ辭^ヘ竟^ヘ奉^ラ久^ク登^ト白^{ヲス}

祈武運長久

諸候大夫士ノ為ニ祈ル時コレヲ白スナリ

挂毛畏伎吾大神乃大前介畏美畏美母白久何某

我物部乃道乎神隨守給比幸給比氏天皇我朝廷

乃敷給比行給幣流御法乎之過犯事无久正伎直

伎誠乃心以氏緩怠事无久仕奉氏大王乃醜乃御

楮食因乃大伎守登丈夫乃清伎其名乎外因麻傳

毛所聞令滿給比賴氏所使流臣等乎毛己我乖々

不令有邪穢心无久彌務米令務給比領氏治流公

民介至流麻傳夜守日守介守幸給比閉登禮代乃幣

乎捧持氏恐美恐美毛稱辭竟奉久登白

同陪臣ノ

挂毛畏伎吾大神乃大前介恐美恐美母白久某因

某郡某里乃武士何某乎吾大神廣久厚久守給幸

給比氏明伎淨伎直伎正伎心以氏其君介仕奉流

事共コトトモ乎ヲ无レ緩事ニハコトコク无レ怠事スルコトナク彌務イヤソトメク々ク彌結イハレリク々ク武タケ士シ乃ノ健タカク
伎キツ其ノ名ナ乎ヲ天アソ下ノ令ニ揚アゲ給シ比ヒ負オホ持モツ都ツ祖オヤ乃ノ名ナ乎ヲ无レ穢ヒカガス
事ナク无レ落事オトスコトナク勤務イノシヰトメテ家門イヘカドヲ令オコサシ起シ給ヒ令ヒロメ廣シ給ヒ妻ツマ子コ
奴等ヤッコラ令ニ至イタル流麻マ低デ平ヒラ久ク安ヤス守モリ給タヒ幸サキ給ヘタマ閑ヘ登ト禮キヤ代ジ乃ノ
幣ヒ乎ヲ捧持サゲモチ氏カシ恐コシ々ク毛モ稱辭カゴトヲ竟ハマツ奉ラ久ク登ト白マス
祈家内安全

挂毛ケモ恐伎コシ吾大神オホカミ乃大前オホサキ令恐美オホシメ恐美オホシメ母ハハ白久オホク某圀ケ

某郡某里人何某ケガオホカミ乃恩賴ニヨリ依ヨリ其家ソノイヘ乃ノ
彌益イハヤス々ク令立榮タチサカユ事乎コトヲ祈白ノシマフサム爲シ祭主名ニヤ令禮ニヤ
代ジ乃幣乎サゲモチ捧持サゲモチ氏カシ恐美オホシメ稱辭カゴトヲ竟奉ハマツ良之ラシ乎ヲ此コノ
狀乎サマヲ平久ヒラク安久ヤスク聞召キコシメシ何某ケガ家内イヘノウチニ令波ハ八十ヤソ枉津マガツ
日乃ヒノ枉事マカ不令有產業ズナリハヒ乎ヲ无レ緩事オコタルコトナク无レ怠事イソシ勤シ美ミ務ツト米メ
氏テ其家門ソノイヘカドヲ令起オコ佐之サシ米メ給比ヒ廣米ヒロメ之米シメ給比ヒ堅石カキハ令ニ
常石トキハ令命長ニイキチナク久ク子孫ウミノコ乃八十連屬ヤソツミキ令至ニイタル流麻マ低デ茂イカシ之シ

八桑枝乃如久令立藥給過犯須事乃有
見直聞直坐夜乃守日乃守守給幸給
恐美恐美母白

祈平産

挂毛畏伎吾大神乃大前余恐美恐美毛白久某因
某郡某里人何某妻何某妊氏今胎月余當
吾大神乃御靈給比平久安子令産給波

事乎祈白年登為祭主名余禮代乃幣乎捧持
恐美恐美母稱辭竟奉良之年挂毛畏伎大神此
狀乎平安久聞召氏何某乎廣久厚久撫給惠給
毛无久事无久令産給比産氏乃後毛平久安久
令在給閉登恐美恐美母白

同報賽

挂毛畏伎吾大神乃大前余恐美恐美毛白久先余

何某^{我ガツマ}妻何某^{我ガハラミチ}我妊^{ウムガツキ}氏臨月^{ニアタレ}余當^{礼リ}里之^シ時吾大神^{トキ。ワガオホカミ}
乃^ノ恩賴^{ニヨリテ}余依^{ヨリテ}氏平久^{ヤスラクク}安久^{コト}子令^{ウマセタマヘト}產給^{ノミマラシキ。サルヲ}登^ト祈白^シ伎然^{サレ}乎^ヲ
祈白^{ノミマラシ}之^シ毛^モ驗^ル久^ク毛^モ无^ク久^ク事^{コト}无^ク久^ク產^{ウマ}之^シ米^メ給^{タマ}幣^ヘ流^ル事^{コト}乎^ヲ
尊^{タトビ}備^{ウレシ}喜^ビ備^ビ謝^{ヨリ}乃^ノ幣^ヒ乎^ヲ捧^{サガ}持^{モチ}氏^テ廣^{ヒロク}久^ク厚^{アツク}久^ク稱^{タハゴトヲハマツ}辭^ハ竟^タ奉^{マツル}
狀^{アリセマフ。タミナク}乎^ヲ平^{ヤスラクク}久^{キヨシメセ}安^ト久^{カレヨリ}聞^モ召^{トラス}恐^カ々^ク毛^モ白^{トラス}

初宮祭

挂^{オホカミ}毛^モ畏^{オソ}伎^キ吾大神^{オホカミ}乃^ノ大前^{オホマヘ}余^ニ恐^{オソ}美^ミ恐^{オソ}美^ミ毛^モ白^{トラス}久^ク大神^{オホカミ}

乃^ノ氏^{ウヂ}子^コ何某^{ガ。マナゴ。}我^ガ眞兒^{マコ}何某^{ガ。オホカミ}伊^{イ。オホカミ}大神^{オホカミ}乃^ノ御靈^{ミタマ}賜^{タマ}利^リ氏^テ生^{アレ}
出^{イデシ}之^シ從^{ヨリ}利^リ。百^{ヒャク}日^{ニチ}餘^{ヨリ}十^{ジュウ}日^{ニチ}余^ニ成^{ナリ}奴^ヌ。彼^{カレ}是^{コト}乎^ヲ以^{モテ}今^ケ日^フ乃^ノ生^{イク}
日^ヒ乃^ノ足^{タル}日^ヒ尔^ニ。初^{ハジメ}氏^テ大神^{オホカミ}乃^ノ大前^{オホマヘ}余^ニ參^{マキ}出^デ氏^テ拜^ヲ奉^{マツル}狀^{アリ}乎^ヲ。
平^{タラケク}久^{ヤスラクク}安^{キニシメセ}久^{トラス}聞^カ召^{トラス}登^{トラス}白^{カク}如^{ツカ}此^{ヘツル}仕^ニ奉^{ヨリ}余^テ依^{イマ}氏^モ今^モ今^モ毛^モ此^{コノ}
嬰^{ミドリゴ}兒^ヲ乎^{イック}愛^{ニシ}美^{タマ}給^ヒ比^ヒ。日^ヒ足^{タシ}賜^{マヒ}氏^テ諸^{モロ}乃^ノ病^{ヤマヒ}不^ヒ令^{マシ}有^ラ須^ス久^ク須^ス
久^ク登^{トラス}生^{オヒ}立^{タチ}榮^{サカエ}氏^テ大神^{オホカミ}乃^ノ氏^{ウヂ}子^コ天^{アマ}皇^{ミコト}乃^ノ公^{オホミタカ}民^{カラト}登^{トラス}守^{モリ}給^{タマ}幸^{ハシ}
給^{タマ}登^{トラス}恐^{カシ}美^{カシ}恐^{カシ}美^モ毛^モ白^{トラス}

新始祭

挂毛カケテモ畏カシキ伎キ手置帆テオキホ負命オヒフミ彦狭知命ヒコサリノミ乃大前オホマヘ介ニ畏オシ美ミ畏カシコ

美毛ミモ白シロ久ク此度木工姓名コノタビコダクミ我ガ此神コノカミ乃御舍ニアラカ殿ミヤ或ハ繼ヒ幣ヒラ

人ヒト御家ミミヤ其餘ナラバ殿舎ミヤノ名類ナノ乃白シロ今日ケフ乃生日ノイクヒ乃足ノタル

日ヒ介ニ造初牟ツクリハジム登ト須ス如此カク不容易事タヤスカラヌコト波ハ吾皇神等ワカスノガミタチ乃廣ノヒロ

伎厚キアツキ御惠ミオホミ介依ニヨリ氏シ平久ヒラク安久ヤスク功成竟コトナシラベム牟登トオモヒカ恩議オモヒカ

氏シ禮代レイダイ乃幣乎ニヒラフ捧持サゲモチ氏シ恐美オシ恐美オシ毛モ稱辭竟奉ナゲクハヒラフ久登クト

白故シラカ如此之状カクノサマ乎皇神ヲスメガミ乃御心ニミココロ介神隨聞召ニカムナガラキコシメシ氏シ今日ケフ

從利ヨリ日々ヒツ介勞務牟ニオイタツキトム流ル木工コダクミ乃道ニミチ介恩賴乎ニミタマノユフ幸開坐サキハヘマシ

氏シ思慮シヨ乃悟サト渡ワカ久ク緩急事无クヨクシキリ勤利ツトメシメタマ令務給ヒト打都ウ

墨繩スミナハ乃法ノリ乃任違過事无ニテクダヒヤツトナク久ク之レ氏シ速ス久ク令功卒給コトヲヘシメタマ登ト

恐美カシコ恐美カシコ毛モ白シロ

柱立

挂毛カケテモ恐伎カシコキ手置帆テオキホ負命オヒフミ彦狭知命ヒコサリノミ乃大前オホマヘ介ニ恐美オシ恐美カシコ

美毛モ白シ久ク木工何某ガコノミヤ此神宮同上作流業ツクル乎ヲ大神オホカミ
 等タチ乃ノ廣ヒロ伎キ厚アツ伎キ御惠ミタニ依ヨリ氏テ打ウツ都スミ墨繩スミナハ毛モ執ト留ル手斧テヲノ
 毛モ無違事無過事柱桁梁モ。タガフコトナク。アマツコトナク。ハシメテタウツクハシメソノホカノモノドモヲアルヘキ乎ハ始其外ハシメソノホカノ乃ノ物等モノドモヲ乎アルヘキ可有アルヘキ
 狀サマ余ニ作訖ツクリテ奴ヌ故是以カレコトヲモ氏テ今日ケ乃フ生日ノイクヒ乃ノ足日タルヒ余ニ齋柱イヒハシラ
 建始カタテ牟止ムト爲シ氏テ大前オホマヘ余ニ大御酒居オホミキスエナベ竝稱辭竟奉狀タトヘゴトヲヘマツルアリサマヲ乎ハ
 平久タミラケク安久ヤスラケク聞食キコシメシ氏テ今イマ毛モ往前ユクサキ毛モ彌益々イヤマス余ニ恩賴ニミタマフユ乎ヲ幸チハ
 閑坐ヘマシ氏テ不事過令建訖給コトアマタス。タテラハシメタマヘト。カシヨミカシヨミモ閑ヘ登ト恐カシヨ美ミ恐カシヨ美ミ毛モ白シ

棟祭

挂毛カケマクモ畏カレコキ伎キ手置帆負命彦狭知命ホオヒノミヲト。ヒコサシリノミヲノ乃オホマヘ大前ニ余ニ恐カシヨ美ミ恐カシヨ
 美母ミモ白マヤサク久ク先サキ余ニ木工姓名コダクミ我ガ此大宮コノオホミヤ乎ヲ同同上上造始ツクリハシム流流
 時トキ余ニ祈申ノミラシ之シ久ク如此カク不容易事タヤスカラヌコトヲ乎ハ婆バ吾皇神等守給ワガスメガミタチモリタヒ
 助給タスケク氏テ法ノリ乃ノ任平久マテノタヒラケク安久ヤスラケク事成竟コトナシラヘシ之レ米メ給タマ閑ヘ登ト祈白ノミラシ
 伎キ然サル乎ヲ祈白ノミラシ之ハ毛モ驗シ久ク無違事無過事令造竟給留ク。タガフコトナク。アマツコトナク。ツクリテヘシメタマヘル
 事コト乎ヲ貴タフト美ミ喜ウレシ美ミ今日ケ乃フ生日ノイクヒ乃ノ足日タルヒ余ニ謝ヨロヨロ乃ノ禮代止キヤシロト

と云ふ人続は其の式に更なる祝詞作文
に務め候事と申候も此の如き事一應
たりと申す事自己の如き事ありと爲
はる臨の速ふ事の凶凶色相明を
以て此の法之由武法要の利本を
親一と申す麻福之世未擴久の思
如理子と云ふ事又井上朝國の如き
事建心と云ふ事速之候と云ふ事

其の一方の居るに方未聞れると云
大坂小坂亦生立一棟居の板平
所産は其の事

武藝園の事

信 信

男信一書

此一書を各祭典略するも其の記述
た深なりことを其の書を申す
しるすに於ては人の心とて其の
まじりて其の心とて其の

明治二年二月

参河國一宮砥鹿社社主後五位下藤原朝臣宣隆

草鹿砥近江守撰
岡本壹岐守訂

祭文例續篇 嗣出

氣吹舎塾藏版

130
69

明治十八年五月六日御届
全 年六月十六日出版

定價金五十錢

藤原朝臣宣隆撰

原版主 氣吹舍塾

愛知縣平民

友刻出版人 佐藤政次郎

名古屋區本町四十二番邸
寄留

